

試験研究成果普及情報

部門	花植木	対象	普及
課題名：春花壇向けパンジー・ビオラ優良品種の選定（第 65 回全日本花卉品種審査会）			
〔要約〕花傷みや病害の発生が少なく、春花壇に適したパンジー・ビオラの優良品種は、「ソルベ XP イエローバーガンディジャンプアップ」、「フローラルパワーマリーナ」、「EV-526」、「ピエナ ラベンダーピコティー」、「ももか 1701」、「ソルベ XP イエローインプ」である。			
キーワード パンジー・ビオラ、春花壇植栽、品種比較、品種審査会			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター 花植木研究室 協力機関 （一社）日本種苗協会		
実施期間	2018年度		

〔目的及び背景〕

千葉県の花壇苗類全体の作付面積は平成 28 年産で 99ha あり、全国第 2 位の出荷量を誇る大産地である（農林水産省・平成 28 年産花き生産出荷統計）。その中でも、パンジー・ビオラは春の花壇を飾る主要品目として、県内の多くの花壇苗生産者が栽培に取り組んでいる。パンジー・ビオラは新品種が頻繁に育成されるものの、品種により草姿、花色、開花特性、被覆率等の生育特性が異なるため、実需者及び消費者からは、花壇の仕上がりに対する具体的な情報が求められている。そこで、パンジー・ビオラの開花、草姿、被覆率等の生育特性を明らかにし、本県での栽培に適した優良品種を選定する。

〔成果内容〕

- 1 定植後の日平均気温は比較的高く推移した（図 1）。降水量は平年の約 45%であったが、数回あった降雨の前後に曇天が続き、日照時間は平年値を大幅に下回る日が多かったため、積算日照時間は平年の約 95%であり（図 2）、灰色かび病が発生しやすい状況であった。本試験は、灰色かび病等による枯れの進行及び、雨による花卉の傷み、また、これらからの回復の速さを評価できる気象条件における露地栽培の立毛評価である。
- 2 第 65 回全日本花卉品種審査会（パンジー・ビオラ（春花壇））において審査した 17 品種のうち、露地圃場に定植した際の被覆率、花の傷みや株内部の葉枯れ症状の有無、開花数（立毛審査）から、「ソルベ XP イエローバーガンディジャンプアップ」（（株）ミヨシグループ）、「フローラルパワーマリーナ」（タキイ種苗（株））、「EV-526」（タキイ種苗（株））、「ピエナ ラベンダーピコティー」（（株）サカタのタネ）、「ももか 1701」（（株）ムラカミシード）、「ソルベ XP イエローインプ」（（株）ミヨシグループ）の 6 品種が入賞した（表 1、写真 1、写真 2、写真 3）。
- 3 入賞品種は 3 月 13 日の調査において被覆率が 95%以上であり、枯れ及び花卉の傷み

が比較的少ないか、これらの障害からの回復が早く、春花壇として十分な観賞性を有する（表2）。

4 1等特「ソルベ XP イエローバーガンディジャンプアップ」(写真1)の被覆率は95%であり、全品種平均値と同程度であったが、花卉が厚く丈夫であったため花が傷みづらく、健全な花の開花輪数が多かったことから、総合的な観賞価値とローメンテナンス性が高い評価を受けた。

[留意事項]

[普及対象地域]

県内全域の花壇苗生産者

[行政上の措置]

[普及状況]

生産者及び実需者各1名が試験圃場を見学し、品目選定の参考にした。

[成果の概要]

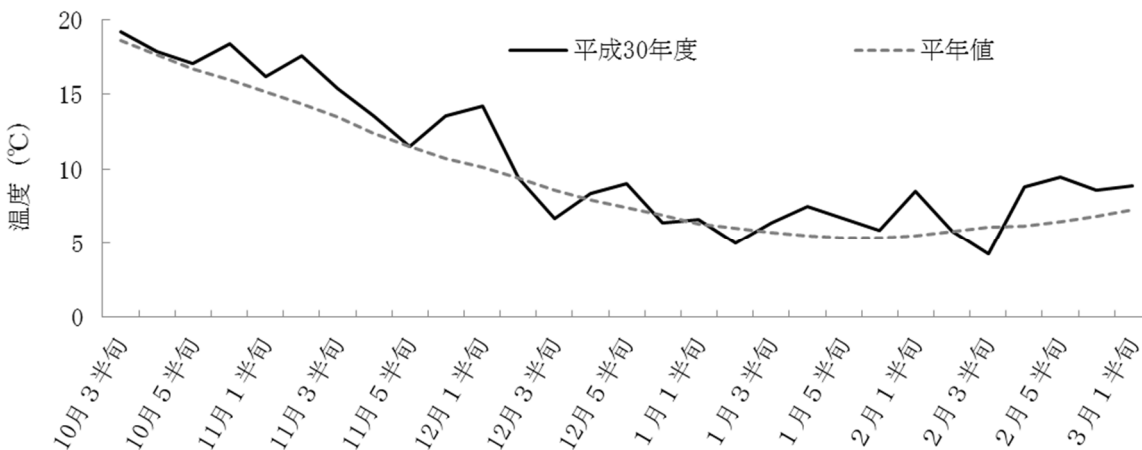


図1 生育期間中の半旬別平均気温の推移（10月3半旬～3月1半旬、千葉市）

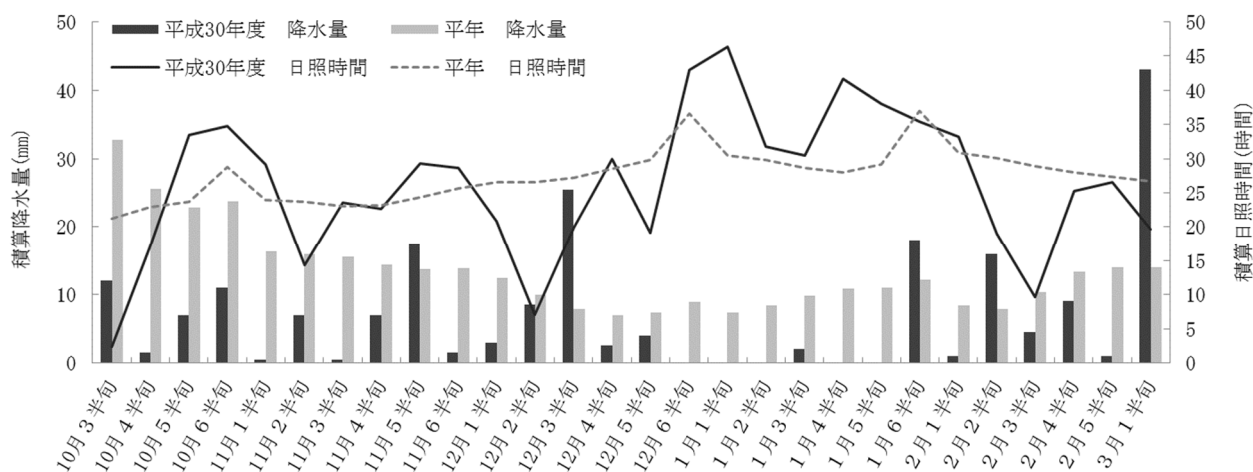


図2 生育期間中の半旬別積算降水量及び半旬別積算日照時間の推移
(10月3半旬～3月1半旬、千葉市)

表1 出品品種(系統)の点数及び上位入賞品種名と出品社名

順位	得点	等級	品種(系統)名	出品社
1	86.22	1等特	ソルベXP イエローバーガンディジャンプアップ	(株) ミヨシグループ
2	82.56	2等	フローラルパワーマリーナ	タキイ種苗(株)
3	79.89	3等	EV-526	タキイ種苗(株)
4	79.11	3等	ピエナラベンダーピコティー	(株) サカタのタネ
5	77.33	3等	ももか1701	(株) ムラカミシード
6	77.11	3等	ソルベXPイエローインプ	(株) ミヨシグループ
7	76.56			
8	75.33			
9	75.22			
9	75.22			
11	74.22			
12	73.56			
13	70.11			
14	69.44			
15	68.44			
16	68.33			
17	63.67			

- 注1) 配点は立毛、100点満点で2反復の平均点
 2) 苗到着日：平成30年10月10日、11日(植え付けまでハウス内で管理)
 3) 植え付け：平成30年10月12日、露地圃場(農林総合研究センター内、黒ボク土)
 4) 栽植規模：1区40株、2反復
 5) 植栽様式：株間・条間各20cm(ベッド幅1.2m、区幅1.8m、区間0.5m)、5条植え
 6) 施肥：基肥としてロングトータル花き1号100日タイプ 100kg/10a、磷硝安加里 S604 30kg/10a
 7) 薬剤散布：11月2日 チェス顆粒水和剤1,000倍、ゲッター水和剤1,000倍、
 11月19日 ユニフォーム粒剤36g/区
 12月20日 アフェットフロアブル2,000倍
 8) 除草及び花がら摘み：11月13～16日及び12月10日、18～20日、2月18、19日の計3回
 7) 審査会開催日：平成31年3月6日

表2 被覆率及び開花数、枯れ程度、花傷み程度の推移

順位	品種(系統)名	被覆率			花数(輪/m ²)			枯れ程度			花傷み	
		2月4日	2月22日	3月13日	2月4日	2月22日	3月13日	2月4日	2月22日	3月13日	2月4日	3月13日
1	ソルベXP イエローバーガンディ ジャンプアップ	85	80	95	496	758	1,308	2.5	1.0	0.5	2.5	1.0
2	フローラルパワーマリーナ	95	100	98	692	1,110	808	2.0	1.0	1.0	2.5	2.0
3	EV-526	85	90	98	604	844	1,200	1.5	1.0	0.5	1.5	1.0
4	ピエナラベンダーピコティ	75	90	98	532	1,130	1,468	3.0	1.0	0.5	2.5	1.0
5	ももか1701	80	90	100	792	760	778	2.0	1.0	2.5	2.0	2.0
6	ソルベXPイエローインプ	70	90	95	572	670	808	1.5	0.5	1.0	2.0	1.0
	全品種平均	80	86	94	557	743	737	2.2	1.6	1.7	2.1	1.9

- 注1) 2月4日は花がら摘みの前に調査したため、花数、花傷みの値が高めとなった
 注2) 枯れ程度については、灰色かび病や寒さによる枯れの発生程度を0(無)～5(激)に指数化し、目視にて判定した上で、2区の平均値を示した
 注3) 花傷みについては、灰色かび病や雨による水浸状の傷みの発生程度を0(無)～3(激)に指数化し、目視にて判定した上で、2区の平均値を示した



写真1 1等特入賞品種「ソルベXPイエローバーガンディジャンプアップ」



写真2 2等入賞品種「フローラルパワーマリーナ」



3等 EV-526



3等 ピエナラベンダーピコティー



3等 ももか 1701



3等 ソルベ XP イエローインプ

写真3 3等入賞品種

[発表及び関連文献]

- 1 審査会報告・第65回全日本花卉品種審査会、種苗界、5・6月合併号、2019年
- 2 令和元年度試験研究成果発表会（花植木部門Ⅰ）

[その他]